

令和元年11月9日(土)
レトロモダンな深谷宿のまち歩き



深谷市イメージキャラクター
ふっかちゃん

歴史のみち広域景観形成プロジェクト

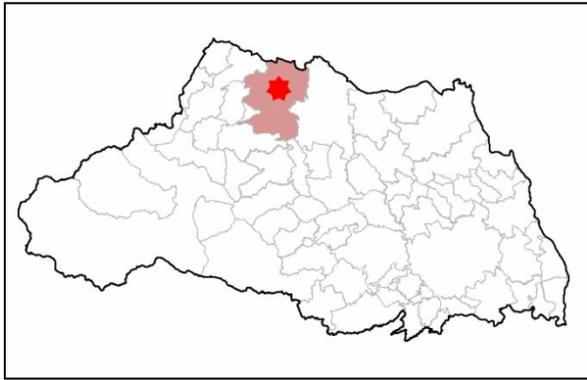
○ 旧街道や旧宿場町などに埋もれている歴史的景観資源を保全・活用し、広域景観形成を進めるプロジェクト。

- ・ 地域景観資源発掘調査
- ・ 歴史のみち景観モデル地区の選定
- ・ 講演会、まち歩きなどの啓発活動
- ・ 景観重要建造物の指定

歴史のみち 景観モデル地区



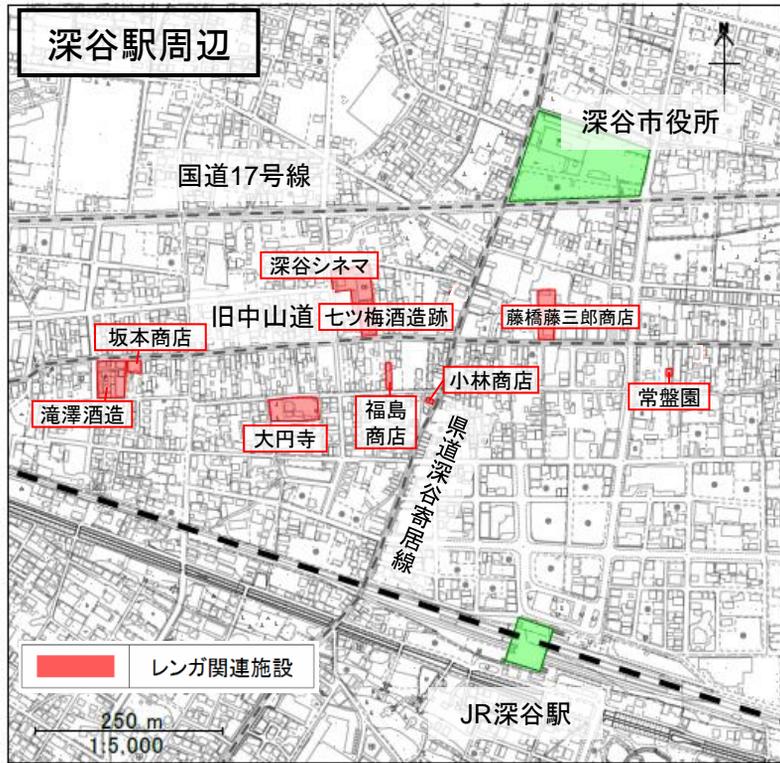
深谷宿地区の概要



地区の概要

○交通
JR深谷駅北口周辺

- なりたち
- ・中山道の宿場町(江戸から数えて9番目)として発達しました。
 - ・日本で最初の機械式レンガ工場が、渋沢栄一翁らにより設立され、明治時代以降は窯業、煉瓦製造業の発達とともに振興しました。



景観資源

大円寺



「水かけ地蔵」として知られるお寺で、レンガ塀が使用されている。

JR深谷駅



東京駅外壁等のレンガは、深谷市内で製造されたことから、東京駅をモチーフに建築された。

セツ梅酒造跡



酒蔵を改築し、映画館(深谷シネマ)やコミュニティスペースにて活用している。

小林商店



隣接する木造洋館と並ぶたたずまいは大正時代の深谷の姿を彷彿とさせる。

深谷宿の取組

■景観絵画コンクール

毎年、深谷の未来を担う小学生に、「深谷の景観」について描いてもらうことで、郷土深谷に対する理解と認識を深め、郷土愛の高揚を図ることを目的とした景観絵画コンクールを実施しています。



平成30年度特選(深谷市景観まちづくり賞)受賞作品

■深谷市レンガのまちづくり条例

洪沢栄一翁の顕彰と、レンガ発祥の地を伝承し、市民の方にもレンガを活かしたまちづくりを進めていきたいという趣旨から、「深谷市レンガのまちづくり条例」を制定し、レンガ等を使用した建築物や外構工事に対し、補助金を交付しています。

レンガのまち深谷へ！
中心市街地でレンガを使って

店舗などで最大補助 200 万円
専用住宅で最大補助 30 万円

中心市街地で新たにレンガを使用した場合、補助金を交付します

建築物の外壁に加え、重点路線では外構の門柱・塀・舗装も補助対象へ

深谷市レンガのまちづくり条例
平成29年4月11日一部改正
深谷市では、洪沢栄一翁のレンガ工場や、そこで作られたレンガを使った歴史的建物が数多くあることからレンガを活かしたまちづくりを推進しています。

深谷市レンガのまちづくり条例

■景観重要建造物

中心市街地内の中山道沿道にある藤橋藤三郎商店のレンガ造煙突が、埼玉県景観条例による「景観重要建造物」に指定されています。(県内第2号) 煙突の根元には、その証であるプレートが設置されています。

市内に残存する希少な景観建造物であるとともに、地域を代表するランドマークとして地域の人々に親しまれています。



藤橋藤三郎商店 レンガ造煙突



